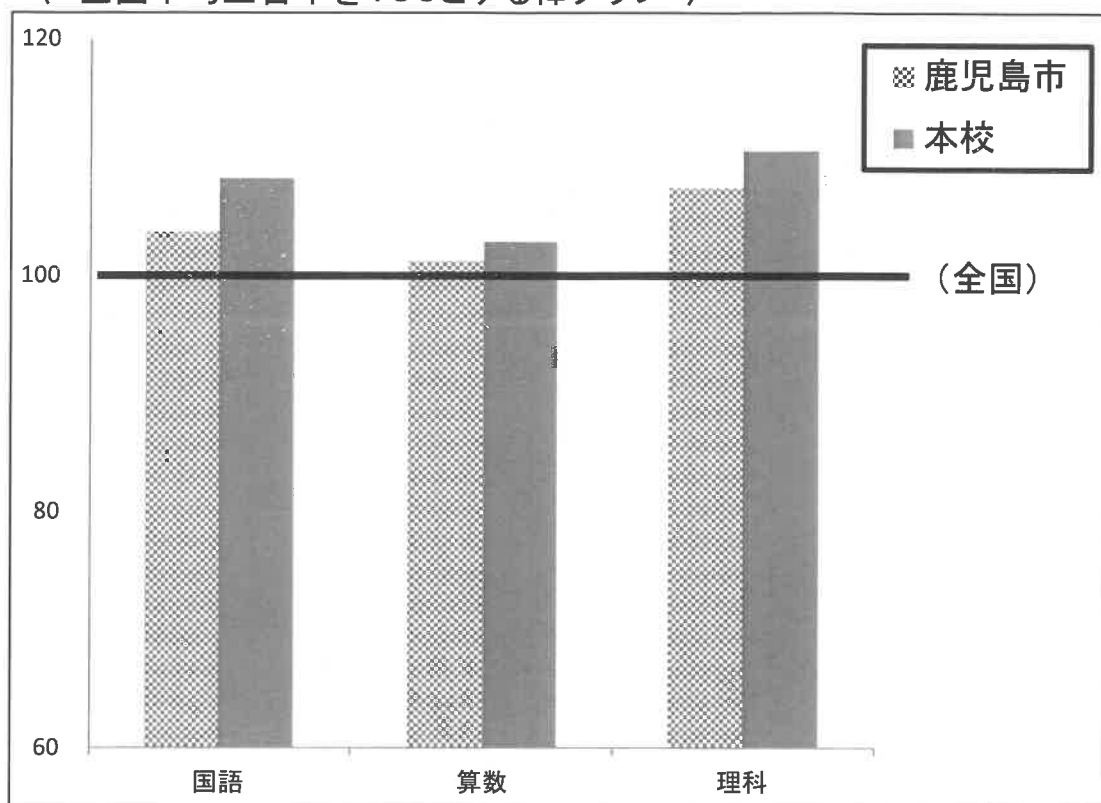


令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

西田小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

全国、市と比較して、平均正答率は上回っています。一方で、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることに課題が見られました。文章を書く際には、自分の考えが明確に伝わるように、自分の考えを最初を書く習慣付けを、説明文の学習時に文章の構成の仕方を考えさせたり、友達と相互に作文を評価し合ったりする学習活動の中で指導してまいります。

〈算数〉

全国、市と比較して、平均正答率は上回っています。一方で、問題場面の数量の関係に着目し、立式したり計算したりすることに課題が見られました。四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算することができるように、ドリル学習や家庭学習と連動させた授業づくりなどの指導に取り組んでまいります。

〈理科〉

全国、市と比較して、平均正答率は上回っています。一方で器具の名称や水の状態変化などの知識を問う問題に課題が見られました。使用する機会が少ない器具についても操作を体験する場面を一人一人に設けることや、知識をより深く理解できるようにするために、主体的な問題解決を通して知識を習得し、学習の成果を日常との関わりの中で捉え直すことができるようにするなどの指導の工夫に取り組んでまいります。

〈全体的に〉

児童質問紙の結果では、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」、「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動をしている」などの質問項目において全国、県を大きく上回っていることから、主体的に学習を行う習慣や考え方が身に付いていることが分かります。一方で、決まった時刻に就寝することに課題があることから、今後PTA専門部や学校保健委員会とも情報を共有し、家庭と連携した規則正しい生活習慣形成のための取組を検討してまいります。